

平成25年行政事業レビューシート (外務省)										
事業名	広報文化活動の実施評価調査			担当部局庁	外務報道官・広報文化組織			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始			担当課室	広報文化外交戦略課			課長 米谷 光司		
会計区分	一般会計			施策名	Ⅲ-1 海外広報					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条			関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	我が国にとり特に重要なG8及びアジア・大洋州の平和と安定のために我が国が共に歩み、発展していくASEAN諸国において、我が国在外公館が実施する広報文化活動の効果・影響力を把握し、その後の広報文化活動の立案・実施に役立てる。									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	G8及びASEANの17カ国において、同国の市民に対する我が国在外公館による広報文化活動の効果・影響力等の調査を行う。									
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
			当初予算		—	—	—	—	24	
			補正予算		—	—	—	—	—	
			繰越し等		—	—	—	—	—	
	計		—	—	—	—	24			
	執行額		—	—	—	—				
	執行率(%)		—	—	—	—				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標					単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	調査結果を分析し、調査国の広報文化戦略の 礎とする。				成果実績	大使館数	—	—	—	17
	調査結果を活かした広報文化戦略の作成(単位: 大使館数)				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	G8(7ヶ国)及びASEAN(10ヶ国)、計17ヶ国で実 施する。				活動実績 (当初見込 み)	国	—	— ()	— ()	— (17)
単位当たり コスト	〇1,385千円/国				算出根拠	23,550千円/17ヶ国				
平成24・25年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由						
	調査実施費	—	24							
	計	—	24							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	広報文化活動を効果的に推進するための施策を立案するという観点から、優先度の高い事業と考える。また、広報文化活動を実施した外務省が、自ら事後評価を実施すべきと考えられる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	可能な限り、競争入札あるいは企画競争の実施により、支出額の削減、適正な支出先の選定に努める。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	より高い精度で事後評価の結果が得られるよう、設問項目及び内容を精査する。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	費用対効果を高めるため、適正な方法により支出先を選定し、設問項目の内容を精査する。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
	—		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年行政事業レビュー			平成24年行政事業レビュー